

令和4年度後期生徒会役員任命式 激励 (R4.10.17)

校長 高瀬 知郎

雄中生の皆さん、こんにちは。

先月9月27日、ここ体育館において後期生徒会役員の立会演説会が行われました。もう20日も前になりますが、5人の立候補者による選挙演説を聴いたときの感動は、今もはっきりと覚えています。演説会終了後、みんなどんなふうにしたのかな？と思って、教室に向かって歩いていた3年生の女子二人に「1, 2年生の演説どうだった？」と聞いてみました。すると二人は「みんな話の内容がすごく、めっちゃ気持ち伝わってきました。」「どの人が役員になってもだいじょうぶ！絶対しっかりやってくれると思いました。」と、明るい声ではきはきと答えてくれました。

私は、学校を変えていくのは、間違いなく「生徒会の力」「生徒自治の力」と確信しています。

深見君は演説の中で「みんなが楽しいと思える理想の学校を作りたい」と述べてくれました。北條さんは「自分たちの力で学校をよりよくしたい。雄中生一人一人が成長できる学校にしたい」と話し、住吉君は「楽しく平和な学校、つまり、いじめのない笑いの絶えない学校にしたい」という願いを熱く語ってくれました。

そして、城戸さん、森井さんを含む5人の候補者は、理想の学校を実現するための方策として「全校で取り組む挨拶運動」「中庭開放による他学年との交流」「目安箱のデジタル化と校則の見直し」「学校ピカピカ作戦」等の案を提唱してくれています。

どれも、雄山中学校のグレードアップにつながる素敵な方策ですね。今から実現が楽しみです。ぜひ、全校生徒の力を結集し、生徒会の力・生徒自治の力で雄山中学校をかつてないステージへと高めていってください。学校全体の成長が生徒一人一人の成長につながります。みんなが魅力あふれる学校づくりに取り組み、みんなが素敵な人へと成長していってください。

雄中生一人一人のがんばりに期待しています。